

いしかわ

大百科



まなびの心
かがやく人生

番組へのご意見は…

- 石川県教育委員会事務局生涯学習課
☎ (076)225-1836
- テレビ金沢 報道制作局制作部
☎ (076)240-3344



放送予定表 2021年 後期10月～3月 **手話通訳つき放送**

テレビ金沢 日曜午前 7:00～7:30

提供/石川県教育委員会 企画・制作/テレビ金沢

シリーズ・つなぐ～残したい手仕事～ (全7回)

機械化が進み工業製品や大型店の進出など益々便利になる世の中であって、その地域の人たちにとって今でも欠かせないものがあります。暮らしの中に根付いてきた手仕事による技は、今もしっかりと生き続けています。この時代だからこそ残したい技に迫るシリーズです。

第1回 10月31日(日)放送 **より強くより長く～小松瓦がきらめく街並み～**

江戸時代、加賀藩三代藩主・前田利常公が生産を奨励した小松瓦。小松市は現在も県内有数の瓦の産地として、その技を伝えています。裏面にも^{ゆうやく}油薬を塗り焼成してあるため、北陸地方の積雪や凍害に強く耐久性が高いのが特徴です。小松に受け継がれる町家に葺かれた瓦は美しい景観を今に残しています。

第2回 11月21日(日)放送 **イ草が薫る～畳の温もり～**

住まいの様式が変わって家に和室が少なくなりましたが、石川県では温泉街や茶・いけ花の文化などまだまだ畳の需要は少なくありません。青々としたイ草を織りあげた畳表を大きさに合わせて切る小気味いい音、部屋にぴったりと収まったときの心地よさがあります。

第3回 12月12日(日)放送 **文化の街に息づく～表具師の技～**

書画などを鑑賞し保存するため^{きれじ}裂地や紙などを貼って裏打ちする表装の技術。藩政時代徹底した文化政策を行った加賀藩では藩お抱えの御用表具師もいました。「京表具」、「江戸表具」と並ぶ日本三大表具に数えられる「金沢表具」の技は文化の町・金沢にはなくてはならない手仕事です。

第4回 1月23日(日)放送 **祈りを込めて～能登の蓬菜～**

神棚の下に垂らす能登の正月の縁起物「蓬菜」^{ほうらい}。元々は米や小豆・銀杏など幾何学模様盛った農作物のお供えでしたが、人々の願いの多様化に伴い現在は干支や七福神の切り絵「福寿」、「大漁」などの文字といった祈りのこもった手仕事が今も連綿と受け継がれています。

第5回 2月13日(日)放送 **火作りの鍛冶～鶴来・打ち刃物～**

白山市鶴来地区(旧鶴来町)は「^{つるぎ}劔」と書かれたほど刃物鍛冶が盛んに行われてきました。江戸時代には加賀藩の御用鍛冶を担った職人もいたほどです。山ろくと平野部をつなぐ町では、クワやカマ、ナタなど農耕用から山林用、家庭用まで幅広い製品が造られています。

第6回 3月6日(日)放送 **伝統産業を支える～雁皮紙～**

「^{かんび}雁皮紙」は、その強靱さから江戸時代から金・銀の箔打ち紙や西陣織の台紙として重宝されてきました。現在、日本で唯一、雁皮紙専門に^{すく}漉く加藤和紙店は雁皮紙の性質を活かし帽子やバックも製作するなど雁皮紙の魅力を発信しています。

第7回 3月27日(日)放送 **次世代に残したい味～能登の醤油～**

能登では地域ごとに小さい醤油屋が、それぞれの味を受け継いでいます。代々女性が店を継ぎ醤油づくりを手掛ける鳥居醤油店(七尾市)、4代目の若夫婦が伝統の味を守る谷川醸造(輪島市)など、地域に根付いた「味づくり」に加え、安心・安全を望む今の時代に合わせた新しい商品も作っています。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)

県民大学校については石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。
〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階
電話(076)223-9572 FAX(076)223-9585

大百科セレクション・再放送

これまで放送した『いしかわ大百科』で、視聴者から好評をいただいた回を再放送します。

1月5日(水)放送 **きらめく芳醇な雫～能登が育むワイン～**

(予定)

(シリーズ・きらめくアイデア～モノづくりにかける～⑨)

初出荷から10年を迎えた能登ワイン(穴水町)は赤ワイン用品種のぶどう「ヤマソーヴィニヨン」の栽培をはじめ、年を重ねるごとに深みのある味わいのワインを生み出し、毎年のように品評会などの受賞を重ねてきました。能登の大地が結んだ芳醇なワイン作りは新たな10年を迎えてさらに進化しようとしています。(2016年11月20日放送)

